



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第15巻3号

(季刊誌)

2013年8月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>

Great
Job!
😊

最新の白内障手術

フェムトセカンドレーザー白内障手術

最新のフェムトセカンドレーザー白内障手術を導入しました。水晶体囊の前面を真円に切除する事が可能で、眼内レンズを水晶体囊の中心に移植でき、レンズの偏位や傾きを最小限にする事ができます。また水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減する事ができ、眼の負担が少ない方法です。より質の高い良好な視機能が得られます。日本では厚生労働省にまだ承認されておりませんので「自由診療」となります。

白内障プレミアムレンズ《老視矯正眼内レンズ》

★多焦点(3重焦点)眼内レンズ tmlOL

現在ヨーロッパでは主流になりつつあるレンズです。遠近両用(2重焦点)の眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m程の距離)にもピントが合う多焦点眼内レンズ(3重焦点眼内レンズ)を導入しました。日本では厚生労働省にまだ承認されておりませんので「自由診療」となります。

★多焦点(遠近両用)眼内レンズ mlOL

近くにも遠くにもピントが合う遠近両用(2重焦点)の眼内レンズです。当院で行う「多焦点(遠近両用)眼内レンズを用いた白内障手術」は「先進医療」として厚生労働省に承認されています。通常の単焦点眼内レンズと比べ、白内障手術後の生活におけるメガネの必要性が大きく減少します。多焦点眼内レンズの事をもっと知りたい方は当院スタッフまでお尋ねください。適応・費用の点も含めご説明し、ビデオ(約10分)もご鑑賞いただけます。

通常の「単焦点眼内レンズ」か「多焦点(遠近両用)眼内レンズ」か、または「多焦点(3焦点眼内レンズ)」かを選択していただく事ができます。

★追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ Add-On

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている眼に、更にもう1枚 多焦点(遠近両用)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し、遠方近方両方に焦点が合うようにする事ができます。術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む) Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

専門外来のお知らせ

角膜外来

第2金曜日(午後)：大阪大学医学部眼科 前田直之 教授による「角膜外来」診療を行っております。「ドライアイ」「円錐角膜」「アトピー角膜感染症」「重篤な眼表面疾患」「遺伝性角膜疾患」など、お困りの患者さんがおられましたらご紹介ください。

ぶどう膜炎外来

第2水曜日(午後)：東京医科歯科大学眼科 望月 學 名誉教授による「ぶどう膜炎外来」診療を行っております。ぶどう膜炎とは眼内における炎症性疾患すべてのことを「ぶどう膜炎=(最近では)内眼炎」と呼びます。PCRによる遺伝子レベルの原因検査も迅速にできるようになりました。原因に応じた、より適確な治療が可能です。原因不明な再燃を繰り返す[ぶどう膜炎]の患者さんがおられましたらご紹介ください。

網膜硝子体手術

第4火曜日(午前)：兵庫医科大学眼科 池田誠宏 教授が来院されます。当院では最新の硝子体切除器械 コンステレーションを導入して約3年になります。小切開5000回転の高速カッターと広角広範囲の眼底観察ができるリサイト(ツァイス・ドイツ)により、従来より容易かつ安全で手術時間も短縮されています。

ESCRS(欧州白内障屈折手術学会) フィルムフェスティバル

2013年10月オランダ・アムステルダムで国際白内障屈折手術学会があり、学術ビデオのVideo Competition 授賞式が開催されます。今年も、当院・西 起史(院長)は世界各国の審査員(8名)の1人として選ばれ、7月・ロンドンへ渡航。長時間におよぶVideo Judgingのすえ、受賞者を選出しました。今年のグランプリは日本人・若手研究者の手に???

